

韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校

総務部

第 106 号

2013.06.26

オープンキャンパス開催
溶接コンクールで上位独占
台湾の高校生来校
レスリング部の活躍

オープンキャンパス開催

6月16日に行われたオープンキャンパスには、中学生257名・保護者183名・教員13名と、過去最高となる参加者の方に参加していただき、大変ありがたく思います。予想以上の参加者で見学時間が短縮されてしまった事は申し訳なく思っています。



実際に出向いていただき、6学科の特徴やカリキュラムの説明を受け「見て・聞いて・触って」を体感し、本校の理解や進路資料に繋がれば幸いと考えています。今後も実技体験をする体験入学を7/13と8/2に予定しています。大勢の方のご参加をお待ちしています。



工業高校生溶接コンクール上位独占

6月8日に第5回山梨県高校生溶接競技会が山梨職業訓練支援センターで行われました。県内8校の工業系高校から30名が参加し、本校からは6名の生徒が出場しました。大会は5回目ということもあり、各校のレベルも高くなり拮抗した大会になると予想されました。本校は3年3組の松本義和君が昨年度優勝しているため連覇をかけての大会となりました。結果は、本校2年4組の志村優太君が1位、2年6組の瀬川真暉君が2位、2年1組の矢崎文也君が3位、2年4組の浅川翔太君が4位、2年3組の雨宮莉音君が8位と、入賞（8位以内）に5名の本校生徒が入ることができました。これだけ上位を独占したことは県内でも初のことで、本校のレベルの高さを象徴した結果となりました。3年生の松本君が4月中旬の関東大会に向けて練習していたということもあり、練習を本格的に開始したのは4月下旬からでした。他校に比べてスタートが遅れていたこともあり、この1ヶ月半は夜9時まで練習しその後ミーティング、そして早朝練習、しかも6名の生徒は、サッカー部に所属しながら溶接の練習をするという多忙な生活でした。しかし、全ては自ら希望し将来のことを考え出場を志願したため、良い結果が出て良かったです。



溶接の技術だけではなく取り組む姿勢や心構え、職人という道の難しさなど徹底的に精神面を鍛え「技術指導+職業教育」をしてきたので、この大会だけではなく卒業後も山梨の産業に少しでも貢献できる人材になってくれると思います。1位の志村君、2位の瀬川君は来年4月の関東大会連覇に向けて、また頑張りたいと思います。

溶接の技術だけではなく取り組む姿勢や心構え、職人という道の難しさなど徹底的に精神面を鍛え「技術指導+職業教育」をしてきたので、この大会だけではなく卒業後も山梨の産業に少しでも貢献できる人材になってくれると思います。1位の志村君、2位の瀬川君は来年4月の関東大会連覇に向けて、また頑張りたいと思います。

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp

台北市港南高級工業職業学校訪問団来校

5月29日台湾の台北市立南港高級工業職業学校1～3年生29名が来校しました。2年生全員が体育館で歓迎しました。その内容は、①校長歓迎あいさつ②訪問団代表あいさつ③生徒会長あいさつ④訪問団生徒代表あいさつ⑤記念品交換⑥応援部による校歌披露とエール交換⑦太鼓部演奏⑧訪問団パフォーマンス披露でした。

学習交流会では3年生の課題研究①電子機械科の対戦型ロボット競技・ソーラーカー②情報技術科のフィジカルコンピューティング③システム工学科の省エネカー製作とエコカーレースの体験と見学を行いました。



続いて視聴覚室で本校生徒35人と①折り紙教室(鶴・冑・手裏剣など)②野点風の茶道体験を交えながら、和やかな雰囲気の中で交流会を行いました。盛り上がった中名残惜しかったのですが、両国の友好を約束し、校舎前で記念写真を撮影して見送りました。

レスリング部の活躍：全日本選抜レスリング選手権大会

6月の15・16日、東京の国立代々木競技場で「平成25年度全日本選抜レスリング選手権大会」が開催されました。この大会は、社会人、大学、高校の各トップ選手が集まり、今年の世界選手権大会日本代表の出場権を競う大会でした。本校から3年の文田健一郎君がグレコローマン55kg級へ、また電子機械科の後藤翼先生がフリースタイル66kg級へ出場しました。文田君は1回戦、関西の大学4年生と対戦し開始68秒で首投げを決めフォール勝ち、2回戦では、昨年の全日本選手権1位で今回の優勝者でもある社会人選手と対戦、小手投げで先制1ポイントを獲得し第1ピリオドをリードで終わり期待させる場面もありましたが、後半に反撃のポイントを許してしまい判定負けに終わってしまいました。後藤先生は、1回戦で日本体育大学助手の社会人選手と対戦し5点の先制を許した



後、後半に1点差まで追い詰めましたが、最後の追い上げも届かず終了のブザーが鳴ってしまいました。後藤先生は、普段本校の高校生相手の練習だけで、企業や大学の恵まれたチーム環境の選手相手にここまで戦えることは素晴らしいと思います。来年も出場権を獲得し、是非この日本最高峰の大会への出場記録を伸ばしてもらいたいです。

関東大会で上位入賞

6月の1・2日に群馬県館林市で開催された関東高校レスリング大会に本校より11名の選手が参加しました。世界のルールが「見せるレスリング」を目指して劇的に変わった初の大会でした。グレコローマン50kg級で2年生の丸山智也君が4回戦を勝ち抜き初優勝。3年の小柳和也君がG55kg級で昨年に続き2連覇、文田健一郎君がG60kg級で3連覇を達成。他にG66kg 栗原康志郎君、G74kg 宮澤正毅君、G84kg 和智輝君と女子46kg級の浅倉栗南さんの4名が惜しくも決勝で敗れ2位という結果でした。

